

スチーム・トラップ 取扱説明書 シリーズ761



仕様

型番	761-5	761-40
タイプ	サーモスタティック	
Design Class	ANSI 600	
適用圧力(MPa)	0.028~2.1	
最高使用温度	226°C	
背圧許容度	N.A.	
口径	15, 20, 25A	
接続	ねじ込み、SW フランジ	
ストレーナー	内臓	
取り付け姿勢	水平、垂直	

特徴

ヤーウェイユニボディ式スチームトラップシリーズ 761 には排出能力の異なった 2 タイプ 761-5, 761-40 があります。作動は独自の FTE エLEMENT によるサーモスタティック・タイプ分類されます。761-5 は飽和温度マイナス3°Cのドレンを排出し、761-40 は飽和温度マイナス22°Cのドレンを排出します。それぞれの作動要部は「カプセル」化されており、共通のボディ(ユニボディ)に組込むことができます。ボディ本体には、炭素鋼・モリブデン鋼を採用、配管の一部として永久使用でき、カプセル(トラップ部)はワンタッチで交換できます。高背圧に対しても正常に作動し、復水回収用トラップとしての条件をそなえています。



注意

安全上のご注意

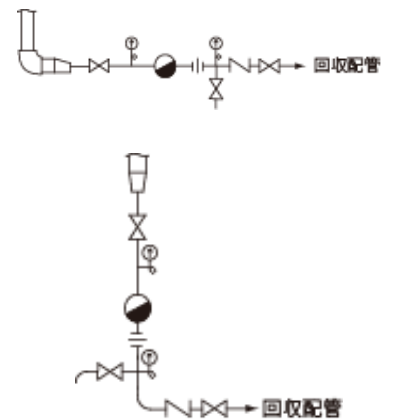
- ・最高許容圧力(PMA)は耐圧部が許容する最高圧力で最高使用圧力ではありません。また、最高許容温度は耐圧部が許容する温度で最高使用温度ではありません。
- ・製品を正しく設置し、最高許容圧力、温度など仕様範囲以外での使用は絶対にしないでください。製品の破損、異常作動等により重大な事故を起こす恐れがあります。
- ・最高作動圧力差を超えて使用すると、排出不能となりますので絶対にさけてください。
- ・出口接続部は人が直接触れられないようにしてください。高温ドレンの排出によって、火傷、ケガなどの危険があります。
- ・製品の分解、取り外しは、製品内部の圧力が大気圧になってから、また表面温度が常温になってから行ってください。製品に圧力、温度が加わっている場合は、流体が吹き出しケガ、火傷をする恐れがあります。
- ・製品の修理には、正規の部品を必ず使用してください。また、製品の改造は絶対にしないでください。
- ・接続ねじ部を締め付けすぎないようにしてください。
- ・凍結の心配がある場合は、プラグから滞留ドレンを排出してください。凍結すると製品の破損の恐れがあります。
- ・ウォーターハンマの衝撃が加わらないようにしてください。

配管

- 1)トラップ前後の配管はトラップ・サイズと同じか、ひとまわり大きなサイズにしてください。
- 2)トラップ2次側の回収管が比較的短い場合は同等でもよいが、長い配管に対しては、ドレンとフラッシュスチームを同時に処理できるように、十分大きなサイズにする必要があります。もし、いくつかのトラップが共通のリターン・ラインに排出する場合は、過度の背圧を防ぐため、十分なサイズの回収管にしなければなりません。
- 3)スチーム・トラップより上部の回収管ヘッドレンを排出する場合は、停止時の逆流を防ぐために逆止弁を設置して下さい。(FIG.1 参照)

製品の取り付け

- 1)トラップを取付ける前には配管をブローして、ゴミ・スケール・金属片等を完全に取り除いて下さい。特に新しい配管の場合は十分なブローを実施して下さい。
- 2)トラップヘッドレンが自然に流入しやすいように、できるだけ低い位置に取り付けて下さい。トラップ前に立ち上がりがないように注意して下さい。
- 3)トラップは水平配管でも垂直(上から下)配管でも作動します。このとき、ボディ上に表示された矢印が流れの方向と一致するようにして下さい。
- 4)凍結が起こりやすいところでは、トラップ内に復水が滞留しないよう垂直配管にするか、水平配管の場合はボンネットが横向きになるように取り付けして下さい。また、トラップはできるだけドレンの取出し口に近い位置に取り付けて下さい。



● Yarway スチームトラップ

▽ テストバルブ

◇ バルブ(ゲート、ボール)

≡ スイングチェックバルブ

□ エキセントリックレデューサー

□ コンセントリックレデューサー

|| ユニオン

→ 圧力計

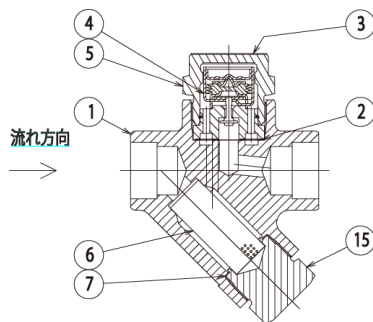
FIG.1

スチーム・トラップ
取扱説明書 シリーズ761

作動点検

1) トラップの寿命を長く保ち最良の作動条件を得るためには、ストレーナー・スクリーンを適切に掃除することをお薦めします。
2) 次の方法により正しいトラップの作動を点検して下さい。
(a) 作動状態をみるために、トラップ後のテスト・バルブを開放し作動を確認して下さい。
(b) 出口側圧力計を見て圧力が異常に上昇していないか確認してください。
3) 作動状況で不具合が生じた場合は、「8.故障原因と対策」にしたがってメンテナンスを行って下さい。
4) 少なくとも年1回以上の定期点検を行なって下さい。
5) 定検のために予備部品を用意しておいて下さい。
スクリーン、スクリーンキャップガスケット各1個。

構造



部品番号	部品名称	材質
1	ボディ	A105
2	シートガスケット	ハスベスト
3	ネームプレート	ステンレス鋼
4	FTE エlement	ステンレス鋼
5	ボンネット	ステンレス鋼
6	スクリーン	ステンレス鋼
7	キャップガスケット	モネル
15	ストレーナーキャップ	ステンレス鋼

分解・点検

分解

1) トラップのボンネットを反時計回りに回してください。ボンネットに組み込まれた作動部品の全てが取り外せます。トラップの全ての作動部品はカプセル化されボンネットに組み込まれています。
2) 取り出したFTEエレメントは布で表面をきれいに拭きとります。もし、これでも付着物がとれない場合は、錆落とし用の溶剤を使用し、きれいに拭きとって下さい。



トラップ本体の表面は高温の為、触れると火傷をします。十分冷えてから革手袋をつけて作業して下さい。また、ボンネットを分解するときは、蒸気や高温ドレンが吹き出しますのでトラップ内の内圧が抜けるのを確認してから作業を行なって下さい。



ボンネットの分解はトラップが十分冷えてから実施して下さい。また、ネジ部に焼き付きを起こすことがあります。

組立

- 1) ボンネットとシートのシール面がきれいで、ごみが付着していないことを確認して下さい。もし、シール面に汚れや、損傷がある場合、ボンネットとシート部とのシールが不可能になります。
- 2) ガスケットがボンネットに取り付けられていることを確認して下さい。
- 3) ボンネットのネジ部にごく少量のモリコートを塗布し所定のトルクで締めこんで下さい。
- 4) スクリーンキャップ及びボディの当たり面を掃除し、新しいガスケットをスクリーンキャップの肩に取り付けます。
- 5) スクリーンをスクリーンキャップ内の窪みにはめ込み本体に所定のトルクで締め込んでください。

Size	ボンネット (mm, N・m)		スクリーン・キャップ (mm, N・m)	
	HEX	トルク値	HEX	トルク値
15A	38	88~102	27	129~149
20A,25A			30	156~176

トラブルシューティング

トラップが正常に作動しない場合は、次の表で処置します。

- (1) カプセル交換、本体交換
- (2) バルブ、シートの清掃
- (3) バイパスの閉弁、修理
- (4) トラップの選定、サイズの見直し
- (5) ストレナーの清掃
- (6) 1次側、2次側バルブの開弁、修理
- (7) 本体矢印の向きに取り付ける

作動状況	原因	対策
生蒸気が漏れる	FTE の損傷	(1) (4)
	バルブシートの摩耗	(1)
	バルブの詰まり	(1) (2) (5)
	背圧が高い	(4)
	仕様を超えていてドレンが連続的に出る	(4)

復水がたまる	温度調節弁が絞られていて蒸気圧が不十分	(4)
	1次側の調節弁又はストップバルブが閉まっている	(6)
	ストレーナーの目詰まり	(5)
	2次側のストップバルブ又はチェックバルブが閉まっている	(6)
	トラップが逆に取り付けられている	(7)
	背圧が高い	(4)

保証

- 1) 保証期間
製品発送後1年間
- 2) 保証範囲
上記保証期間内に当社の責任により故障を生じた場合は、その製品の交換あるいは修理を行います。
- 3) 下記の場合は、保証期間でもその責任を負いません。
 - ① 正しい取り付け、取り扱い以外による故障、およびユーザーの責任による故障
 - ② ゴミ、スケール、カーボン、鉄くづ等による故障
 - ③ 水質異常による本体内部腐食の故障
 - ④ ユーザーの分解、点検による故障
 - ⑤ 天災などの不可抗力による故障
 - ⑥ 製品破損等で現品の廃棄による詳細が不明な場合
 - ⑦ その他当社の製造責任に帰さない原因(ウォーターハンマー等)による事故、又は故障
- 4) 免責事項
本取扱説明書の記載事項が遵守されないことにより発生した不適合については、弊社の責任は免除されます

日本フィツシヤ株式会社
651-2241 神戸市西区室谷1-5-1
Tel (078)990-2015 Fax (078)992-4571